2 植物の生育状況

植物の生育状況を把握するに当たり、収集した文献その他の資料は以下のとおりである。

- ・「自然環境保全基礎調査(植生調査)」(環境省生物多様性センター)
- 「宮城県の絶滅のおそれのある野生動植物 RED DATA BOOK MIYAGI 2016」(平成28年 宮城県)
- ・「宮城県野生植物目録 2017 引用標本データベース」(平成 30 年 宮城県植物の会)
- ・「宮城の野草」(平成4年 河北新報社)

なお、調査対象範囲は動物と同様、事業実施想定区域及びその周囲を含む範囲とし、 資料ごとに設定した。調査対象区域は、村田町、柴田町、名取市、岩沼市、川崎町、仙 台市太白区とした(沿岸部を除く)。

1)植物相の状況

事業実施想定区域及びその周囲の植物相の状況を表 3.1-36 に整理した。蘚苔類 25 目 66 科 242 種、維管束植物 59 目 172 科 2,098 種が確認されている。

衣 5.1 50 土な他物							
	分類群及び確認種数等		主な確認種*1				
蘚苔類 25 目 66 科 242 種			クマノゴケ、コハイヒモゴケ、 ウキゴケ、オオミズゴケ、コマ チゴケ、マルバヒメクサリゴケ 等				
維管束植物 59 目 172 科 2,098 種	シダ植物 10 目 22 科 169 種		ミズニラ、ヤマハナワラビ、ゼ ンマイ、サンショウモ、ヒカゲ ワラビ、ミヤコヤブソテツ、キ ヨスミヒメワラビ等				
	種子植物 49 目 150 科 1,929 種	ヒノキ目、 スイレン目等 8 目 11 科 38 種	アカマツ、キタゴヨウ、ヒノキ アスナロ、フサジュンサイ、ヒ ツジグサ、センリョウ、コシノ カンアオイ、ホオノキ、オオバ クロモジ等				
		単子葉類 10 目 28 科 584 種	マルバオモダカ、トチカガミ、 ミズオオバコ、イトモ、エビ ネ、スズラン、ヒメミクリ、カ ンスゲ、ススキ、クマザサ等				
		真正双子葉類 31 目 111 科 1,307 種	フクジュソウ、ベンケイソウ、 ミヤコグサ、ミズナラ、ネコヤ ナギ、スミレ、アブラナ、イヌ タデ、カワラニガナ等				
植物村	目合計 84目238科2,3	B40 種	-				

表 3.1-36 主な植物

- ※1. 種名等は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 令和3年度生物リスト」(令和3年 国土交通省 水情報国土データ管理センター)に準拠した。
- ※2. 文献資料の出典は以下のとおり。
 - ①:「宮城県の絶滅のおそれのある野生動植物 RED DATA BOOK MIYAGI 2016」(平成 28 年 宮城県)
 - ②:「宮城県植物誌」(平成29年7月宮城県植物の会)
 - ③:「宮城の野草」(平成4年 河北新報社)

2) 植生の状況

植生の状況は、「自然環境保全基礎調査(植生調査)」(環境省生物多様性センターHP、 閲覧:令和4年4月)をもとに調査した。事業実施想定区域及びその周囲の現存植生の 植生区分を表 3.1-37に、現存植生は図3.1-22に示すとおりである。

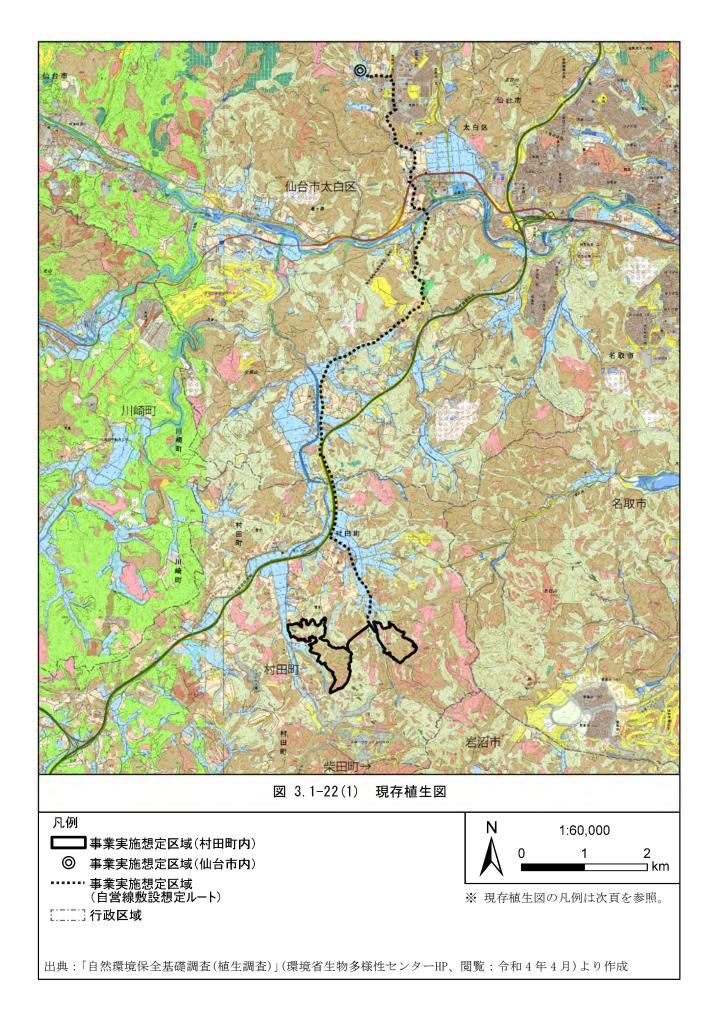
表 3.1-37 現存植生の植生区分

植生区分	番号**1	群落	植生自然度※2	事業実施 想定区域内 ^{※3}
	1	モミーイヌブナ群集	9	
	2	イヌシデーアカシデ群落	9	
ゴ.トゥニット	3	アオハダーモミ群落	9	
ブナクラス域	4	ケヤキ群落 (IV)	9	
自然植生	5	ハンノキ群落 (IV)	9	
	6	ヤナギ高木群落 (IV)	9	
	7	ヤナギ低木群落 (IV)	9	
	8	コナラ群落 (V)	7	
	9	アカシデーイヌシデ群落 (V)	7	
-3114	10	オニグルミ群落 (V)	8	
ブナクラス域	11	ケヤキ二次林	8	0
代償植生	12	アカマツ群落 (V)	7	0
	13	ススキ群団 (V)	5	0
	14	伐採跡地群落 (V)	4	0
	15	ウラジロガシ群落	9	
	16	シキミーモミ群集	9	0
	17	ケヤキ群落 (VI)	9	Ü
	18	イヌシデーアカシデ群落(VI)	9	
ヤブツバキクラス	19	ヤナギ高木群落 (VI)	9	
域自然植生	20	コナラ群落 (VII)	7	
WILL THE TENER OF	21	クリーコナラ群集	7	0
	22	アズマネザサ群落	5	
	23	クズ群落	5	
	24	ススキ群団 (VII)	5	
	25	ヨシクラス	10	0
河辺・湿原・塩沼	26	ツルヨシ群集	10	0
地・砂丘植生等	27	オギ群集	10	
	28	ヒルムシロクラス	10	
	29	スギ・ヒノキ・サワラ植林	6	0
	30	アカマツ植林	6	0
	31	ニセアカシア群落	3	0
	32	その他植林	3	0
	33	その他植林(落葉広葉樹)	6	
	34	竹林	7	\cap
	35	ゴルフ場・芝地	4	0
植林地、耕作地植生	36	牧草地	2	0
	37	路傍・空地雑草群落	2	
	38	放棄畑雑草群落	4	
	39	果樹園	3	
	40	畑雑草群落	2	0
	41	水田雑草群落	2	0
	42	放棄水田雑草群落	4	0
	43	市街地	1	0
	44	緑の多い住宅地	2	0
	45	残存・植栽樹群をもった公園、墓地等	<u> </u>	
その他	46	工場地帯	 	
しく月世	47	造成地	 _	
	48	開放水域		
	49	自然裸地	 	
	49	日 /		

^{※1.} 番号は、図 3.1-22 の図中番号に対応している。

^{※2.} 植生自然度は表 3.1-36 の番号に対応している。

^{※3.} 事業実施想定区域内に存在する植生に○を表示した。

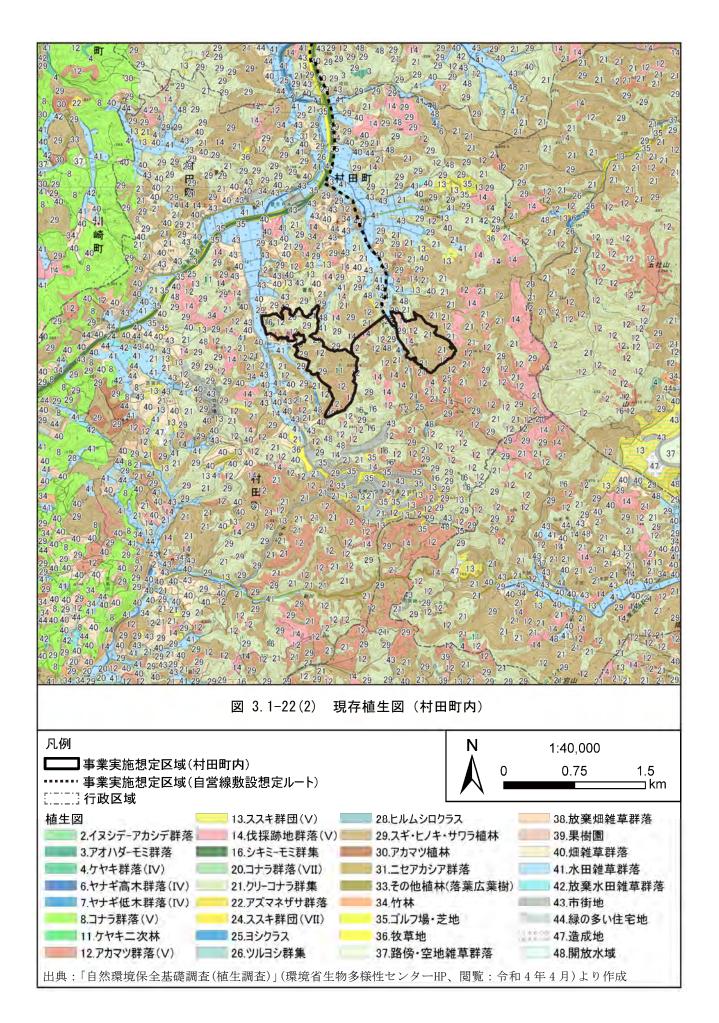


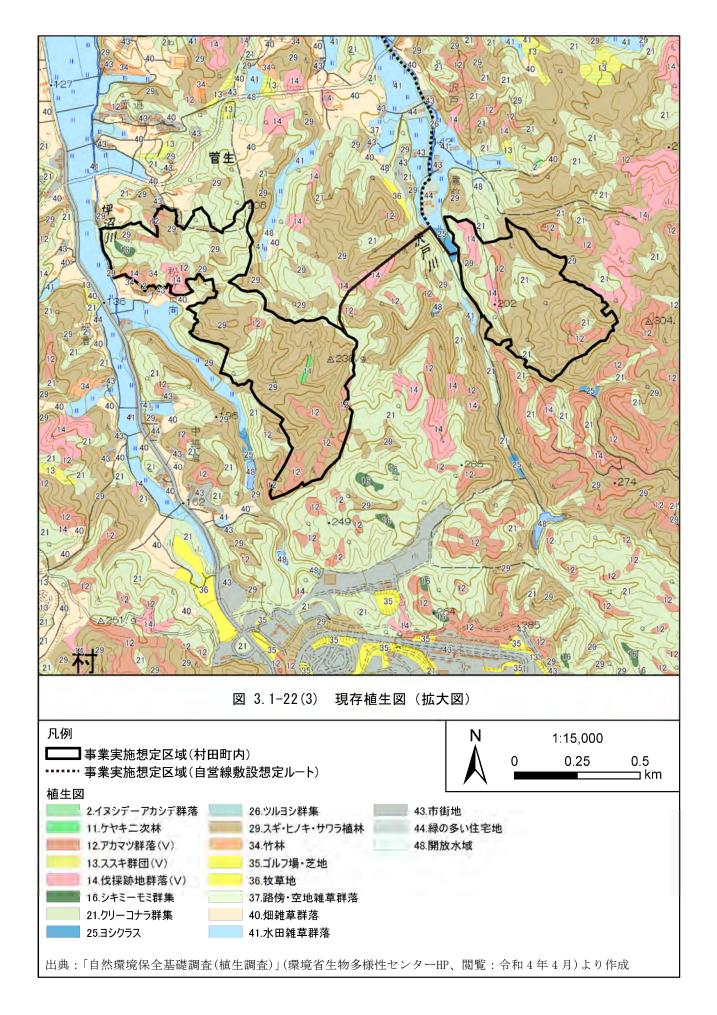
現存植生図凡例 ■■■■ 1.モミーイヌブナ群集 26.ツルヨシ群集 2.イヌシデーアカシデ群落 27.オギ群集 3.アオハダーモミ群落 28.ヒルムシロクラス 4.ケヤキ群落(IV) 29.スギ・ヒノキ・サワラ植林 5.ハンノキ群落(IV) 30.アカマツ植林 6.ヤナギ高木群落(IV) 31.ニセアカシア群落 7.ヤナギ低木群落(IV) 32.その他植林 8.コナラ群落(V) 33.その他植林(落葉広葉樹) 9.アカシデーイヌシデ群落(V) 34.竹林 10.オニグルミ群落(V) 35.ゴルフ場・芝地 36.牧草地 11.ケヤキニ次林 37.路傍•空地雑草群落 ■ 12.アカマツ群落(V) 13.ススキ群団(V) 38.放棄畑雑草群落 14.伐採跡地群落(V) 39.果樹園 40.畑雑草群落 15.ウラジロガシ群落 41.水田雑草群落 16.シキミーモミ群集 42.放棄水田雜草群落 17.ケヤキ群落(VI) ■ 18.イヌシデーアカシデ群落(VI) 43.市街地 19.ヤナギ高木群落(VI) 44.緑の多い住宅地 20.コナラ群落(VII) 45.残存・植栽樹群をもった公園、墓地等 21.クリーコナラ群集 46.工場地帯 ₩₩₩ 47.造成地 ___ 22.アズマネザサ群落 23.クズ群落 48.開放水域 24.ススキ群団(VII)

出典:「自然環境保全基礎調査(植生調査)」(環境省生物多様性センターHP、閲覧:令和4年4月)より作成

25.ヨシクラス

49.自然裸地





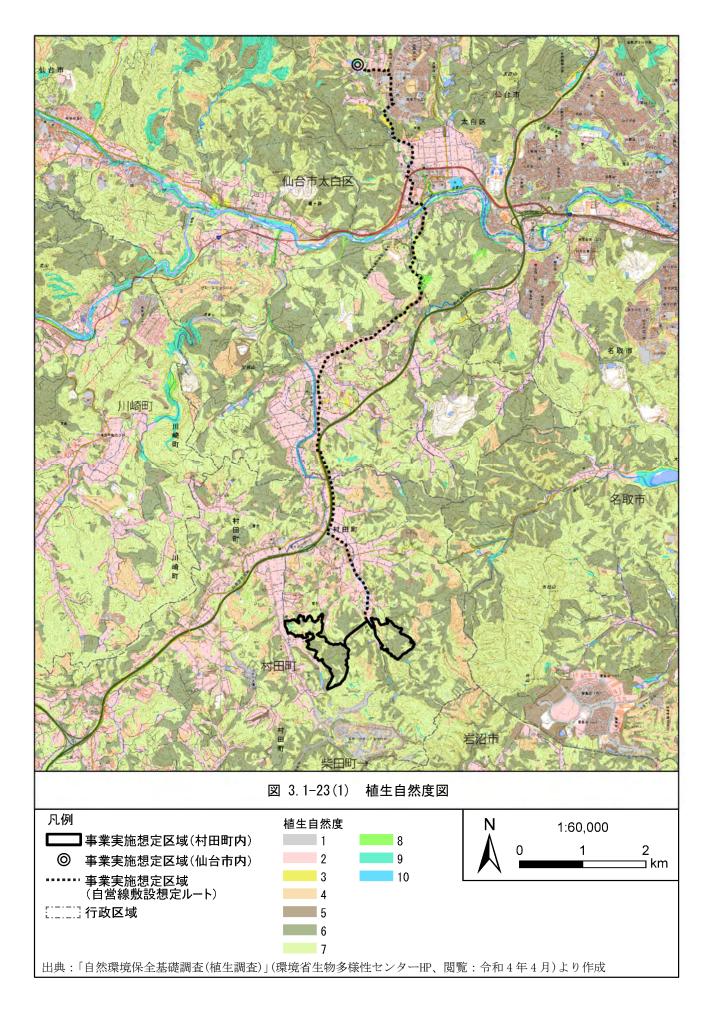
また、植生自然度は「1/2.5 万植生図を基にした植生自然度について」(環境省生物 多様性センターHP、閲覧:令和4年4月)より作成した。環境省では植生自然度9~10 に該当する植物を自然性の高い植生として位置付けている。植生自然度の区分基準を表3.1-38 に、村田町内の事業実施想定区域及びその周囲の植生自然度を図3.1-23 に示した。

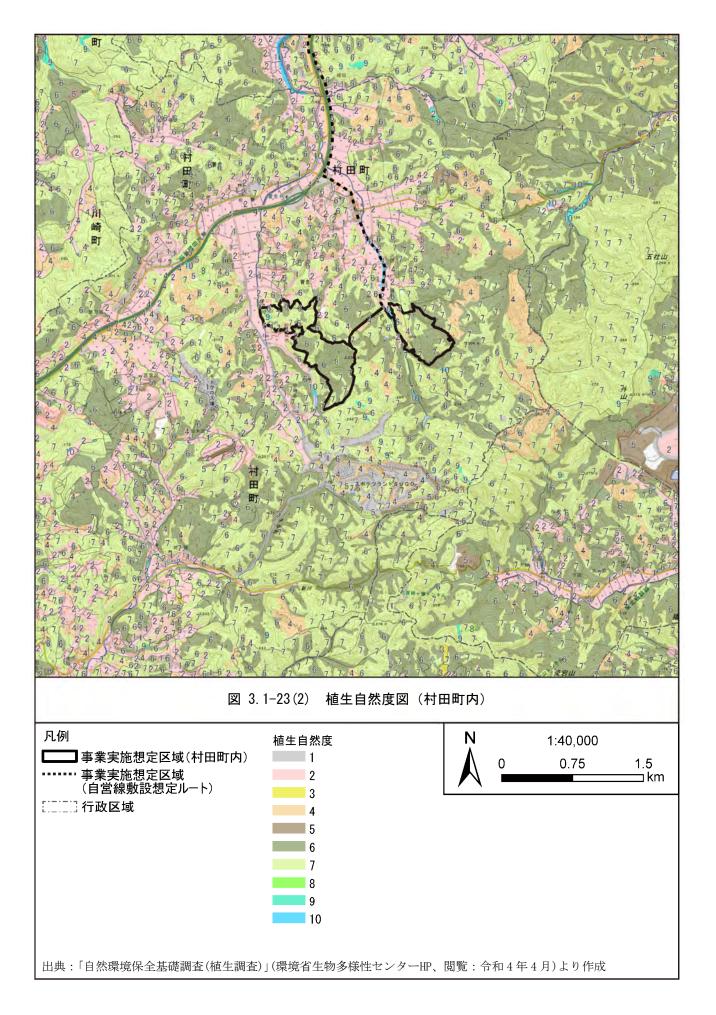
村田町内の事業実施想定区域の現存植生は、主としてスギ・ヒノキ・サワラ植林(植生自然度 6)、クリーコナラ群集(植生自然度 7)、アカマツ群落(植生自然度 7)、伐採跡地群落(植生自然度 4)が広がり、一部にケヤキ二次林(植生自然度 8)、シキミーモミ群集(植生自然度 9)が分布する。また、村田町内の事業実施想定区域の東側エリアの西側にはヨシクラス(植生自然度 10)が隣接している。

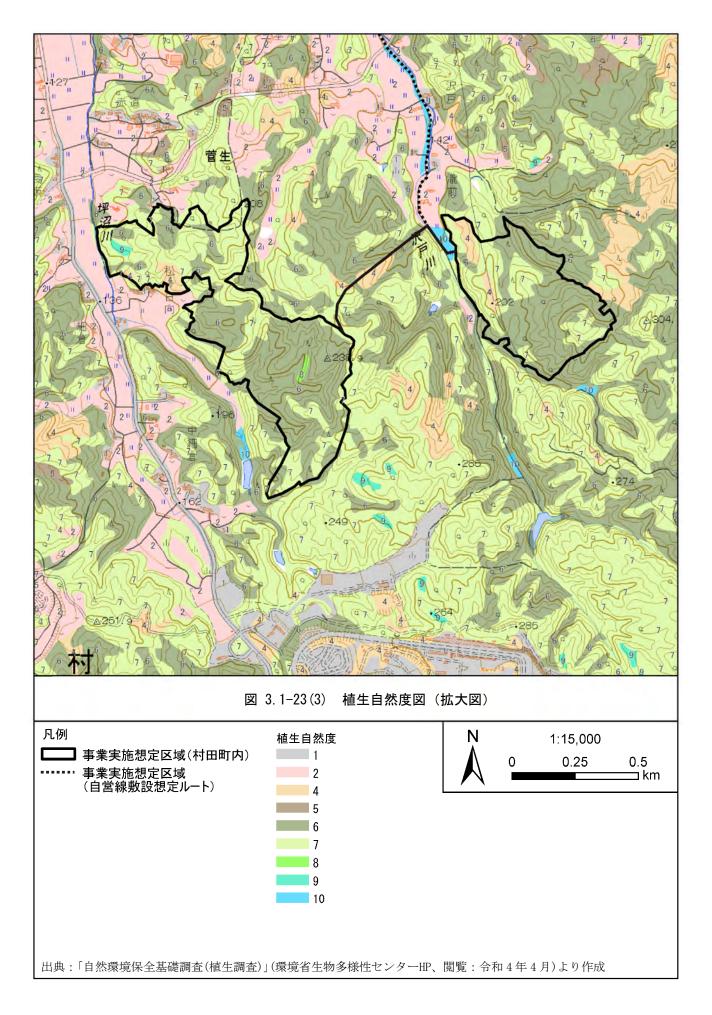
表 3.1-38 植生自然度の区分基準

植生自然度	区分基準
10	高山ハイデ、風衝草原、自然草原等、自然植生のうち単層の植物社会を形成する地区
9	エゾマツートドマツ群集、ブナ群集等、自然植生のうち多層の植物社会を 形成する地区
8	ブナ・ミズナラ再生林、シイ・カシ萌芽林等、代償植生であっても、特に 自然植生に近い地区
7	クリーミズナラ群落、クヌギーコナラ群落等、一般には二次林と呼ばれる 代償植生地区
6	常緑針葉樹、落葉針葉樹、常緑広葉樹等の植林地
5	ササ群落、ススキ群落等の背丈の高い草原
4	シバ群落等の背丈の低い草原
3	果樹園、桑園、茶畑、苗圃等の樹園地
2	畑地、水田等の耕作地、緑の多い住宅地
1	市街地、造成地等の植生のほとんど存在しない地区

出典:「1/2.5 万植生図を基にした植生自然度について」(環境省生物多様性センターHP、閲覧:令和 4 年 4 月) より作成







3) 重要な種並びに重要な群落及び巨樹・巨木林

(1)重要な種

事業実施想定区域及びその周囲における植物に係る重要な種は、既存文献より生育が確認された植物群落及び植物種のうち、表 3.1-39 に示す基準に該当するものを選定した。

文献調査で確認された植物のうち重要な種は、表 3.1-40 に示す 53 目 100 科 338 種である。

表 3.1-39 重要な種の選定基準

分類	略称	名称	カテゴリ
法規制等	文法	『文化財保護法』 (昭和25年 法律第214号) 『宮城県文化財保護条例』 (昭和50年 宮城県条例第49号) 『村田町文化財保護条例』 (平成元年 村田町条例第14号) 『仙台市文化財保護条例』 (昭和37年 仙台市条例第27号)	・特天:特別天然記念物 ・国天:天然記念物 ・県天:県指定天然記念物 ・町天:町指定天然記念物 ・市天:市指定天然記念物
	種法	『絶滅のおそれのある野生動植物の 種の保存に関する法律(種の保存法)』 (平成4年 法律第75号)	• 国内: 特定国内希少野生動植物種
RDB 等	環 RL	『環境省レッドリスト』 (令和2年 環境省)	・EX:絶滅 ・EW:野生絶滅 ・CR:絶滅危惧 I A 類 ・EN:絶滅危惧 I B 類 ・VU:絶滅危惧 II 類 ・NT:準絶滅危惧 ・DD:情報不足 ・LP:絶滅のおそれのある地域個体群
	宮RDB ①	『宮城県の絶滅のおそれのある野生動 植物-RED DATA BOOK MIYAGI2016-』 (平成 28 年 宮城県)	・EX:絶滅 ・EW:野生絶滅 ・CR+EN:絶滅危惧Ⅰ類 ・VU:絶滅危惧Ⅱ類 ・NT:準絶滅危惧 ・DD:情報不足 ・LP:絶滅のおそれのある地域個体群 ・要注目種
	宮 RL ②	『宮城県の希少な野生動植物-宮城県 レッドリスト 2022 年版-』 (令和4年 宮城県)	・EX:絶滅 ・EW:野生絶滅 ・CR+EN:絶滅危惧Ⅰ類 ・VU:絶滅危惧Ⅱ類 ・NT:準絶滅危惧 ・DD:情報不足 ・LP:絶滅のおそれのある地域個体群 ・要注目種

表 3.1-40 (1) 重要な植物種一覧

		20.14		克 		選定基準	生 ※2	
No.	目名	科名	種名*1	文法	種法	環RL	宫RDB①	宮RL②
1	ミズゴケ	ミズゴケ	シタミズゴケ	7212	1111	PRILE	CR+EN	CR+EN
	キセルゴケ	キセルゴケ	クマノチョウジゴケ				VU	VU
3	,	, ,	クマノゴケ			NT	CR+EN	CR+EN
4	スギゴケ	スギゴケ	オキナスギゴケ			CR+EN	VU	VU
5	シッポゴケ	キンシゴケ	ヒメキンシゴケ				DD	DD
6	ギボウシゴケ	ギボウシゴケ	ヤマトハクチョウゴケ			VU	NT	CR+EN
7	ホンマゴケ	ハリガネゴケ	カサゴケモドキ			VU	CR+EN	CR+EN
8	イヌマゴケ	カワゴケ	コシノヤバネゴケ			CR+EN	CR+EN	CR+EN
9		ハイヒモゴケ	キヨスミイトゴケ				CR+EN	CR+EN
10			コハイヒモゴケ				CR+EN	CR+EN
11	シトネゴケ	キヌゴケ	ヤリノホゴケ				VU	VU
12		ハイゴケ	コウライイチイゴケ				CR+EN	NT
13	ゼニゴケ	ウキゴケ	イチョウウキゴケ			NT	CR+EN	CR+EN
14	ツボミゴケ	ミズゴケ	コアナミズゴケ				CR+EN	CR+EN
15			オオミズゴケ				CR+EN	CR+EN
16	コマチゴケ	コマチゴケ	コマチゴケ				CR+EN	CR+EN
17	クモノスゴケ	チヂレヤハズゴケ	エゾヤハズゴケ				CR+EN	CR+EN
18	クラマゴケモドキ	クラマゴケモドキ	クラマゴケモドキ				CR+EN	CR+EN
19		クサリゴケ	ヤマナカヨウジョウゴケ				VU	VU
20			マルバヒメクサリゴケ				VU	VU
21			ナカジマヒメクサリゴケ				VU	VU
22	ツボミゴケ	ハネゴケ	ヨコグラハネゴケ				CR+EN	CR+EN
23		ヤバネゴケ	シフネルゴケ				CR+EN	CR+EN
24	ヒカゲノカズラ	ヒカゲノカズラ	スギラン			VU	CR+EN	CR+EN
25	イワヒバ	イワヒバ	イヌカタヒバ			VU		
26	ミズニラ	ミズニラ	ミズニラ			NT	NT	NT
27			ミズニラモドキ			VU	CR+EN	CR+EN
	ハナヤスリ	ハナヤスリ	ヤマハナワラビ				VU	VU
29			トネハナヤスリ			VU	CR+EN	CR+EN
	ゼンマイ	ゼンマイ	ヤシャゼンマイ				NT	NT
	コケシノブ	コケシノブ	ホソバコケシノブ					NT
32			コハイホラゴケ				VU	VU
33	サンショウモ	デンジソウ	デンジソウ			VU	EW	EW
34		サンショウモ	アカウキクサ			EN	CR+EN	
35			サンショウモ			VU	NT	NT
36	ウラボシ	イノモトソウ	イノモトソウ				NT	NT
37			オオバノハチジョウシダ				CR+EN	CR+EN
38		メシダ	ヒロハイヌワラビ				VU	CR+EN
39			コウライイヌワラビ			VU	CR+EN	CR+EN
40			ヤブシダ				NT	NT
41			セイタカシケシダ				VU	VU
42			ヒカゲワラビ				VU	VU
43			オニヒカゲワラビ				VU	VU
44			ハカタシダ				CR+EN	CR+EN
45			ミヤコヤブソテツ	1			CR+EN	CR+EN
46			サクライカグマ				CR+EN	CR+EN
47			オオイタチシダ				NT	NT
48			ギフベニシダ				CR+EN	CR+EN
49			リョウトウイタチシダ					NT
50			キョスミヒメワラビ				VU	VU
51			イノデモドキ				VU	VU

表 3.1-40(2) 重要な植物種一覧

		1 1 1 1		見		選定基準	生 ※2	
No.	目名	科名	種名*1	文法	種法	環RL	宫RDB①	宮RL②
52	ウラボシ	ウラボシ	マメヅタ				NT	NT
53			イワオモダカ				VU	VU
54	スイレン	スイレン	ネムロコウホネ			VU	DD	
55	シキミ	マツブサ	チョウセンゴミシ				CR+EN	CR+EN
56	コショウ	ドクダミ	ハンゲショウ				VU	VU
57		ウマノスズクサ	ウマノスズクサ					NT
58			フタバアオイ				CR+EN	CR+EN
59			ミチノクサイシン			VU	NT	NT
60			コシノカンアオイ			NT	CR+EN	
61	クスノキ	クスノキ	ヤブニッケイ				CR+EN	CR+EN
62	オモダカ	オモダカ	サジオモダカ				NT	NT
63			マルバオモダカ			VU	CR+EN	CR+EN
64			アギナシ			NT	VU	VU
65			ウリカワ					NT
66		トチカガミ	スブタ			VU	CR+EN	CR+EN
67			ヤナギスブタ				VU	VU
68			トチカガミ			NT	CR+EN	VU
69			サガミトリゲモ			VU	VU	VU
70			イトトリゲモ			NT	NT	NT
71			ホッスモ				VU	VU
72			オオトリゲモ				CR+EN	VU
73			イトイバラモ			VU	CR+EN	CR+EN
74			ミズオオバコ			VU	NT	VU
75			コウガイモ				CR+EN	VU
76			セキショウモ				CR+EN	CR+EN
77		ヒルムシロ	イトモ			NT	要注目種	NT
78			コバノヒルムシロ			VU	VU	VU
79			エゾノヒルムシロ				VU	VU
80			センニンモ				VU	VU
81			ミズヒキモ				VU	VU
82			ホソバミズヒキモ				VU	VU
83			ヒロハノエビモ				CR+EN	CR+EN
84			ツツイトモ			VU	CR+EN	CR+EN
85			ササバモ				CR+EN	CR+EN
86		カワツルモ	カワツルモ			NT	VU	VU
	タコノキ	ホンゴウソウ	ホンゴウソウ	1		VU	CR+EN	CR+EN
88	ユリ	サルトリイバラ	マルバサンキライ				CR+EN	VU
89		ユリ	ミヤマスカシユリ			EN		VU
90			アマナ				VU	VU
91	クサスギカズラ	ラン	コアニチドリ			VU	CR+EN	CR+EN
92			エビネ			NT	VU	VU
93			キンセイラン			VU	CR+EN	CR+EN
94			ユウシュンラン	1		VU	NT	NT
95			キンラン			VU	VU	VU
96			クゲヌマラン			VU	CR+EN	CR+EN
97			トケンラン	1		VU	CR+EN	CR+EN
98			コアツモリソウ	1		NT	CR+EN	VU
99			クマガイソウ			VU	CR+EN	CR+EN
100			ハマカキラン			VU	NT	VU
101			エゾスズラン	1			NT	VU
102			カモメラン			NT	CR+EN	CR+EN

表 3.1-40(3) 重要な植物種一覧

						選定基準	生 ※2	
No.	目名	科名	種名*1	文法	種法	環RL	宫RDB①	宮RL②
103	クサスギカズラ	ラン	マツラン	7712	1111	VU	CR+EN	CR+EN
104	, , , , , , , , , , ,	, ,	シロテンマ			CR	VU	CR+EN
105			ヒロハツリシュスラン			EN	CR+EN	CR+EN
106			ヒメミヤマウズラ			LIV	CR+EN	CR+EN
107			ミズトンボ			VU	CR+EN	CR+EN
107			オオミズトンボ			EN	CR+EN	CR+EN
108								
			ムカゴソウ			EN	VU	VU
110			ヒメノヤガラ			VU	VU	VU
111			ハクウンラン			DM	VU	VU
			ギボウシラン			EN	CR+EN	CR+EN
113			フガクスズムシソウ			VU	CR+EN	CR+EN
114			セイタカスズムシソウ				CR+EN	CR+EN
115			ジガバチソウ				NT	NT
116			スズムシソウ				CR+EN	CR+EN
117			ノビネチドリ				VU	VU
118			ヒメフタバラン					要注目種
119			アオフタバラン				VU	VU
120			ミヤマモジズリ				CR+EN	CR+EN
121			サギソウ			NT	CR+EN	CR+EN
122			ミズチドリ				VU	VU
123			イイヌマムカゴ			EN	CR+EN	CR+EN
124			ツレサギソウ				NT	VU
125			マイサギソウ				CR+EN	CR+EN
126			ヤマサギソウ				VU	VU
127			トキソウ			NT	VU	VU
128			ヤマトキソウ				CR+EN	CR+EN
129			ウチョウラン			VU	CR+EN	CR+EN
130			ヒナチドリ			VU	CR+EN	CR+EN
131			カヤラン				VU	VU
132			ヒトツボクロ					NT
133			ショウキラン				CR+EN	CR+EN
134		アヤメ	ヒオウギ				CR+EN	CR+EN
135			ヒメシャガ			NT	NT	NT
136			カキツバタ			NT	VU	VU
137			アヤメ				NT	NT
138		ヒガンバナ	ギョウジャニンニク				CR+EN	CR+EN
139		クサスギカズラ	スズラン				VU	VU
140			ヒメイズイ				NT	NT
141	ツユクサ	ツユクサ	ヤブミョウガ				CR+EN	CR+EN
142		ミズアオイ	ミズアオイ			NT		NT
143	イネ	ガマ	ミクリ			NT	NT	NT
144			ヤマトミクリ			NT	CR+EN	CR+EN
145			ナガエミクリ			NT	NT	NT
146			ヒメミクリ			VU	VU	VU
147		ホシクサ	ホシクサ				要注目種	NT
148		カヤツリグサ	イセウキヤガラ				VU	VU
149			ヤマクボスゲ			NT	VU	VU
150			スナジスゲ				NT	NT
151			ハコネイトスゲ				CR+EN	CR+EN
152			ムジナスゲ				VU	VU
153			タチスゲ				CR+EN	CR+EN
100		l .	/ / / /	1		<u> </u>	ORILIN	OICEL

表 3.1-40(4) 重要な植物種一覧

154				7.		選定基準	作※ 2	
154 イネ	No. 目名	科名	種名*1		插法			宮RL②
156	151 13	サートル 川 東中	, ビコカコビ	入仏	俚仏	採LL		
156		ルヤンリクサ						
157								CR+EN
158								CR+EN
150								NT
160 161 162 162 163 164 165 166 167 166 166 167 166 166 167 166 167 166 167 168 169 170 171 172 173 174 175 176 177 178 179 180 181 181 181 182 184 185 186 186 187 199 190 190 191 191 191 192 193 199 190 19						VU	VU	VU
161	159		タチヒメクグ					VU
162	160		ニイガタガヤツリ			CR	要注目種	NT
163	161		チシママツバイ			VU	CR+EN	CR+EN
164 165	162		スジヌマハリイ			VU	VU	VU
165	163		コツブヌマハリイ			VU	VU	VU
165	164		チャボイ			VU	CR+EN	CR+EN
166 167								NT
167								VU
168 169						VII		CR+EN
169						10		VU
170							,,,	VU
171		1 7		+		MТ		NT
172		17	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	1			V/I T	VU
173				1		IN I		NT
174								
175 176 177 178 178 179 179 178 179 17								
176							NT	NT
177 178 7キウネマガリ			· ·			EN		VU
T78								VU
179								要注目種
180							CR+EN	CR+EN
181								NT
182 キンポウゲ			ヒメスズダケ				NT	NT
183			ウシクサ				CR+EN	CR+EN
Table Ta	182 キンポウゲ	ケシ	ナガミノツルケマン					NT
185	183		ヤマブキソウ					NT
Table キンポウゲ センウズモドキ VU 要注目種 フクジュソウ VU VU VU VU VU VU VU V	184		オサバグサ				CR+EN	CR+EN
Table キンポウゲ センウズモドキ VU 要注目種 フクジュソウ VU VU VU VU VU VU VU V	185	ツヅラフジ	ツヅラフジ				DD	DD
187	186		センウズモドキ			VU	要注目種	NT
188								VU
カザグルマ NT VU								NT
T ズマシロカネソウ						NT	VII	VU
191						111		CR+EN
192 193 194 194 195 196 196 197 198 199 200 201 ユキノシタ ボタン ヤマシャクヤク NT CR+EN CR+E							OK · LIV	NT
Tan								NT
オキナグサ							ŊТ	NT
195 196 196 セキノカサ VU CR+EN C 197 セメバイカモ EN CR+EN C 198 バイカモ EN VU 199 マンセンカラマツ EN VU 200 イワカラマツ VU 201 ユキノシタ ボタン ヤマシャクヤク NT CR+EN				1		1/1 T		
196 197 197 ヒキノカサ VU CR+EN C 198 ヒメバイカモ EN CR+EN C 199 ベイカモ EN VU 200 イワカラマツ VU 201 ユキノシタ ボタン ヤマシャクヤク NT CR+EN				1				CR+EN
197 198 ビメバイカモ EN CR+EN C 199 バイカモ EN VU 200 イワカラマツ VU 201 コキノシタ ボタン ヤマシャクヤク NT CR+EN			·	1				VU
198 バイカモ EN VU 199 イワカラマツ VU 200 ボタン ヤマシャクヤク NT CR+EN								CR+EN
199				-		EN	CR+EN	CR+EN
200 イワカラマツ VU 201 ユキノシタ ボタン ヤマシャクヤク NT CR+EN			· ·	-		-		NT
201 ユキノシタ ボタン ヤマシャクヤク NT CR+EN				1			VU	VU
				1			ļ	NT
202 ベニバナヤマシャクヤク VU VU		ボタン		1		NT		VU
				1		VU	VU	VU
		ベンケイソウ	ベンケイソウ				VU	CR+EN
204 ツメレンゲ NT DD	204		ツメレンゲ			NT	DD	DD

表 3.1-40(5) 重要な植物種一覧

		1 2 0.1 -	<u> </u>	見		選定基準	生※ 2	
No.	目名	科名	種名**1	文法	種法	環RL	宇 宮RDB①	宮RL②
205	ユキノシタ	ベンケイソウ	アズマツメクサ	AIA	1至1厶	NT	VU	VU
206		タコノアシ	タコノアシ			NT	10	NT
207		アリノトウグサ	オグラノフサモ			VU	VU	VU
208			タチモ			NT	VU	VU
209	マメ	マメ	モメンヅル			111	VU	VU
210			ジャケツイバラ				CR+EN	CR+EN
211			タヌキマメ				CR+EN	CR+EN
212			ケヤブハギ				要注目種	NT
213			エゾノレンリソウ					NT
214			レンリソウ					VU
215			イヌハギ			VU	NT	NT
216			マキエハギ				NT	NT
217			オオバタンキリマメ				NT	NT
218			センダイハギ				CR+EN	CR+EN
	バラ	イラクサ	マルバヤブマオ				VU	VU
220			トキホコリ			VU	VU	VU
221			コケミズ				NT	NT
222		バラ	チョウセンキンミズヒキ			VU	NT	NT
223			エチゴキジムシロ				要注目種	要注目種
224			シャリンバイ					要注目種
225			ハマナス				NT	NT
226			サナギイチゴ			VU	要注目種	
	ブナ	ブナ	アラカシ					要注目種
	ニシキギ	ニシキギ	イワウメヅル				DD	NT
229			クロヅル			DD		
	キントラノオ	トウダイグサ	ノウルシ			NT	要注目種	
231			マルミノウルシ			NT	VU	VU
232		الماريات الماريات	センダイタイゲキ			NT	CR+EN	CR+EN
233 234		ヤナギ	シライヤナギ				CR+EN	VU
234		スミレ	エゾノタチツボスミレ				NT	NT
	フトモモ	オトギリソウ ミソハギ	オシマオトギリ				VU	VU
237	ノトセセ	ミノハヤ	ヒメミソハギ ミズマツバ			VII	CR+EN	CR+EN
238			ヒメビシ			VU VU	VU CR+EN	VU CR+EN
239		アカバナ	カラフトアカバナ			VU	NT	NT
	アオイ	アオイ	カラスノゴマ				IVI	NT
		アブラナ	ハマハタザオ					NT
242	, , , ,	, , , ,	ミズタガラシ				VU	VU
243			エゾハタザオ				要注目種	
244			コイヌガラシ			NT	CR+EN	CR+EN
245			ハタザオ					VU
	ナデシコ	イソマツ	ハマサジ			NT	CR+EN	CR+EN
247		タデ	アブクマトラノオ				VU	NT
248			ヒメタデ			VU	VU	VU
249			ヤナギヌカボ			VU	要注目種	NT
250			ナガバノウナギツカミ			NT	VU	VU
251			サデクサ				NT	NT
252			ヌカボタデ			VU	要注目種	NT
253			ホソバイヌタデ			NT	NT	NT
254			ノダイオウ			VU	要注目種	NT
255			マダイオウ				CR+EN	CR+EN

表 3.1-40(6) 重要な植物種一覧

.,	D 6	1	45 b %1			選定基準	生 ※2	
No.	目名	科名	種名※1	文法	種法	環RL	宫RDB①	宮RL②
256	ナデシコ	ナデシコ	タチハコベ			VU	要注目種	NT
257			ワダソウ				VU	VU
258			ナンブワチガイソウ			VU	NT	NT
259		ヒユ	ハマアカザ					NT
260			アカザ			VU		
261			ハママツナ				NT	NT
262	ミズキ	アジサイ	クサアジサイ				CR+EN	VU
263	ツツジ	サクラソウ	ヤナギトラノオ				VU	VU
264			クリンソウ				VU	VU
265			サクラソウ			NT	CR+EN	CR+EN
266		ツバキ	ナツツバキ				VU	VU
267	リンドウ	アカネ	オオキヌタソウ				NT	NT
268		リンドウ	ホソバノツルリンドウ				VU	CR+EN
269			イヌセンブリ			VU	VU	NT
270		マチン	アイナエ				CR+EN	CR+EN
271		キョウチクトウ	フナバラソウ			VU	VU	VU
272			コカモメヅル					VU
273			スズサイコ			NT	VU	VU
274	ナス	ナス	ヤマホロシ				VU	VU
275	ムラサキ	ムラサキ	ムラサキ			EN	CR+EN	CR+EN
276			ルリソウ				NT	NT
277			ツルカメバソウ			EN	CR+EN	CR+EN
	シソ	イワタバコ	イワタバコ				CR+EN	CR+EN
279		オオバコ	マルバノサワトウガラシ			VU	VU	VU
280			アブノメ				VU	CR+EN
281			オオアブノメ			VU	要注目種	NT
282			ヒシモドキ			EN	EX	EX
283			クワガタソウ				VU	NT
284			カワヂシャ			NT	NT	NT
285		ゴマノハグサ	ゴマノハグサ			VU	VU	CR+EN
286			ヒナノウスツボ				DD	DD
287		シソ	キセワタ			VU	VU	CR+EN
288			ヒメハッカ			NT	CR+EN	CR+EN
289			シラゲヒメジソ				要注目種	NT
290			ヤマジソ			NT	VU	VU
291			ナミキソウ				NT	NT
292			エゾニガクサ			EN	CR+EN	CR+EN
293			カリガネソウ				CR+EN	CR+EN
294		ハマウツボ	タチコゴメグサ				VU	VU
295			ケヤマウツボ					要注目種
296			ハマウツボ			VU	NT	CR+EN
297		, ,	キョスミウツボ				VU	VU
298		タヌキモ	イヌタヌキモ			NT	VU	NT
299			ミミカキグサ				CR+EN	CR+EN
300			タヌキモ			NT	CR+EN	CR+EN
301			ヒメタヌキモ			NT	CR+EN	CR+EN
302			オオタヌキモ			NT	NT	VU
303		1-11-1	ムラサキミミカキグサ			NT	NT	NT
304		キツネノマゴ	ハグロソウ				CR+EN	VU
305	T. 1.	クマツヅラ	クマツヅラ				VU	VU
3U0	モチノキ	モチノキ	ソヨゴ				NT	NT

表 3.1-40(7) 重要な植物種一覧

No.	目名	科名	種名*1			選定基準	生 ※2	
		1174	1里石	文法	種法	環RL	宮RDB①	宮RL②
307	キク	キキョウ	バアソブ			VU	CR+EN	CR+EN
308			キキョウ			VU	VU	NT
309		ミツガシワ	ヒメシロアサザ			VU	VU	VU
310			ガガブタ			NT	CR+EN	CR+EN
311			アサザ			NT	VU	VU
312		キク	シオン			VU		
313			シュウブンソウ					NT
314			エゾノタウコギ				VU	VU
315			ヒメガンクビソウ				VU	VU
316			キクタニギク			NT		NT
317			ナトリアザミ				CR+EN	CR+EN
318			アズマギク				VU	VU
319			フジバカマ			NT		NT
320			タカサゴソウ			VU	VU	VU
321			ノニガナ				NT	NT
322			カワラニガナ			NT	VU	VU
323			コオニタビラコ					VU
324			ミチノクヤマタバコ				VU	VU
325			オオニガナ				NT	NT
326			ムラサキニガナ				NT	NT
327			カシワバハグマ				VU	VU
328			アキノハハコグサ			EN	VU	CR+EN
329			アオヤギバナ				VU	CR+EN
330			オカオグルマ				VU	CR+EN
331			オナモミ			VU	VU	VU
332	セリ	セリ	エキサイゼリ			NT	CR+EN	CR+EN
333			ミシマサイコ			VU	CR+EN	CR+EN
334			ホタルサイコ				NT	NT
335			タニミツバ				VU	VU
336			ヌマゼリ			VU	NT	VU
	マツムシソウ	ガマズミ	レンプクソウ				NT	NT
338		スイカズラ	マツムシソウ					VU
合計	53 目	100 科	338 種	0種	0種	148 種	299 種	331 種

^{※1.} 種名等は「宮城県の絶滅のおそれのある野生動植物 RED DATA BOOK MIYAGI 2016」(平成 28 年 宮城県)及び「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 令和3年度生物リスト」(令和3年 国土交通省水情報国土データ管理センター)に準拠した。

^{※2.} 重要な種の選定基準は、表 3.1-37 に示した略称を表記している。

(2) 重要な植物群落の状況

事業実施想定区域及びその周囲における植物の生育状況を把握するに当たり、収集した文献その他の資料は以下のとおりである。

- ・「第2回 自然環境保全基礎調査 植生調査報告書(全国版)」 (昭和56年 環境省生物多様性センター)
- ・「第3回 自然環境保全基礎調査 植生調査報告書(全国版)」 (昭和63年 環境省生物多様性センター)
- ・「第5回 自然環境保全基礎調査 特定植物群落報告書」 (平成12年3月 環境庁生物多様性センター)
- 「宮城県の絶滅のおそれのある野生動植物 RED DATA BOOK MIYAGI 2016」(平成 28 年 宮城県)

植物群落に係る重要な種は、既存文献より生育が確認された植物群落及び植物種のうち、表 3.1-41に示す基準に該当するものを選定した。

表 3.1-41 重要な群落の選定基準

分類	略称	名称	カテゴリ
法規制等	文法	『文化財保護法』 (昭和25年 法律第214号) 『宮城県文化財保護条例』 (昭和50年 宮城県条例第49号) 『村田町文化財保護条例』 (平成元年 村田町条例第14号) 『仙台市文化財保護条例』 (昭和37年 仙台市条例第27号)	・特天:特別天然記念物 ・国天:天然記念物 ・県天:県指定天然記念物 ・町天:町指定天然記念物 ・市天:市指定天然記念物
	群 RDB	『植物群落レッドデータブック』 (平成8年(財)日本自然保護協会他)	・4:緊急に対策必要 ・3:対策必要 ・2:破壊の危惧 ・1:要注意
RDB 等 その他	宮 RDB ①	『宮城県の絶滅のおそれのある野生動 植 物-RED DATA BOOK MIYAGI2016-』 (平成 28 年 宮城県)	D: 壊滅4: 壊滅状態3: 壊滅危惧(要対策)2: 壊滅危惧1: 要注意
	宮 RL ②	『宮城県の希少な野生動植物 -宮城県レッドリスト 2022 年版-』 (令和4年 宮城県)	• D: 壞滅 • 4: 壞滅状態 • 3: 壞滅危惧(要対策) • 2: 壞滅危惧 • 1: 要注意
	環基	『第2回 自然環境保全基礎調查』 (昭和56年 環境庁) 『第3回 自然環境保全基礎調査』 (平成元年 環境庁) 『第5回 自然環境保全基礎調査』 (平成12年 環境庁)	• 特群: 特定植物群落
	自然度	『自然環境保全基礎調査(植生調査)』 (環境省生物多様性センター)	・植生自然度 10:自然草原 ・植生自然度 9:自然林

文献調査で確認された重要な植物群落は、表 3.1-42 に示す植生自然度 10 及び 9 に該当する植生と、天然記念物を抽出した。

村田町内の事業実施想定区域内では、シキミーモミ群集(植生自然度 9)が該当する。 また、事業実施想定区域及びその周囲には天然記念物の「シダレザクラ」と「滝前不動 のフジ」が分布している。なお、村田町内の事業実施想定区域の東側エリアの西側には ヨシクラス(植生自然度 10)が隣接している。重要な植物群落を図 3.1-24に示した。

表 3.1-42(1) 重要な植物群落

選定基準 自然度	植生区分	群落
植生自然度 10	河辺・湿原・塩沼地・ 砂丘植生等	ヨシクラス、ツルヨシ群集、オギ群集、ヒルムシ ロクラス
植生自然度 9	ブナクラス域自然植生	モミ-イヌブナ群集、イヌシデーアカシデ群落、 アオハダーモミ群落、ケヤキ群落(IV)、ハンノ キ群落(IV)、ヤナギ高木群落(IV)、ヤナギ低木 群落(IV)
	ヤブツバキクラス域 自然植生	シキミーモミ群集

出典:「自然環境保全基礎調査(植生調査)」(環境省生物多様性センターHP、閲覧: 令和4年4月)より作成

表 3.1-42(2) 重要な植物群落 (天然記念物)

選定基準※	指定自治体	所在地	名称	樹種
町天	村田町	村田町	シダレザクラ	シダレザクラ
国天	玉	川崎町	滝前不動のフジ	フジ

※. 選定基準は、表 3.1-41 に示した略称を表記している。

出典:「文化遺産オンライン」(文化庁 HP、閲覧:令和4年4月)より作成

(3) 巨樹・巨木の状況

文献その他資料調査(表 3.1-43)によると、事業実施想定区域及びその周囲において、表 3.1-44、図 3.1-24に示すとおり、巨樹・巨木林の分布記録がある。

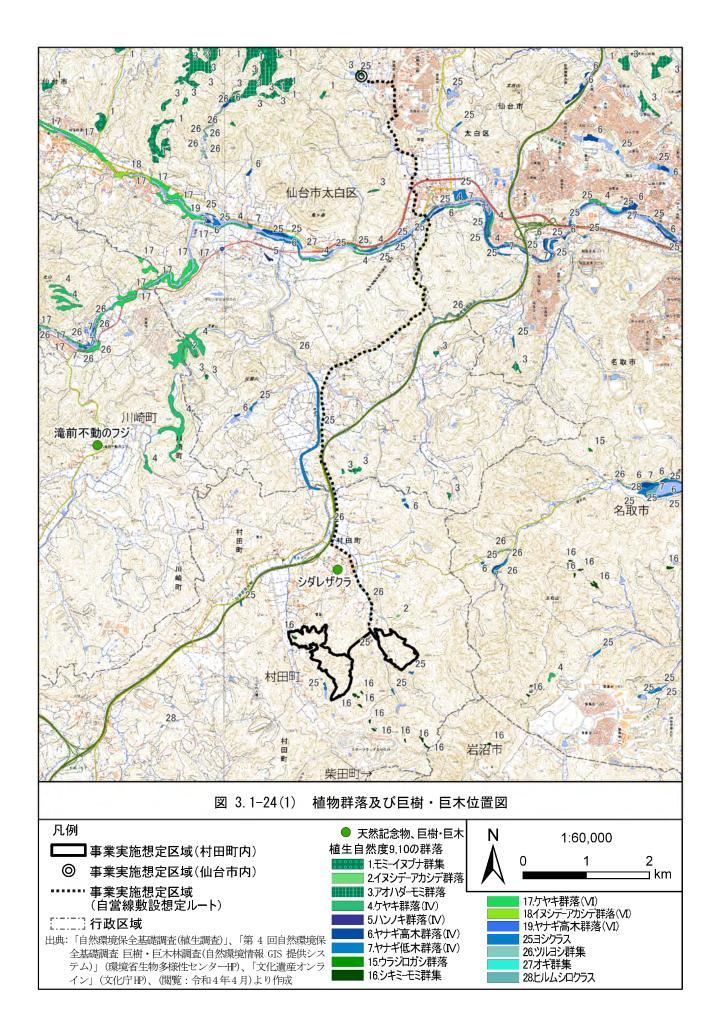
表 3.1-43 文献その他の資料一覧(巨樹・巨木林)

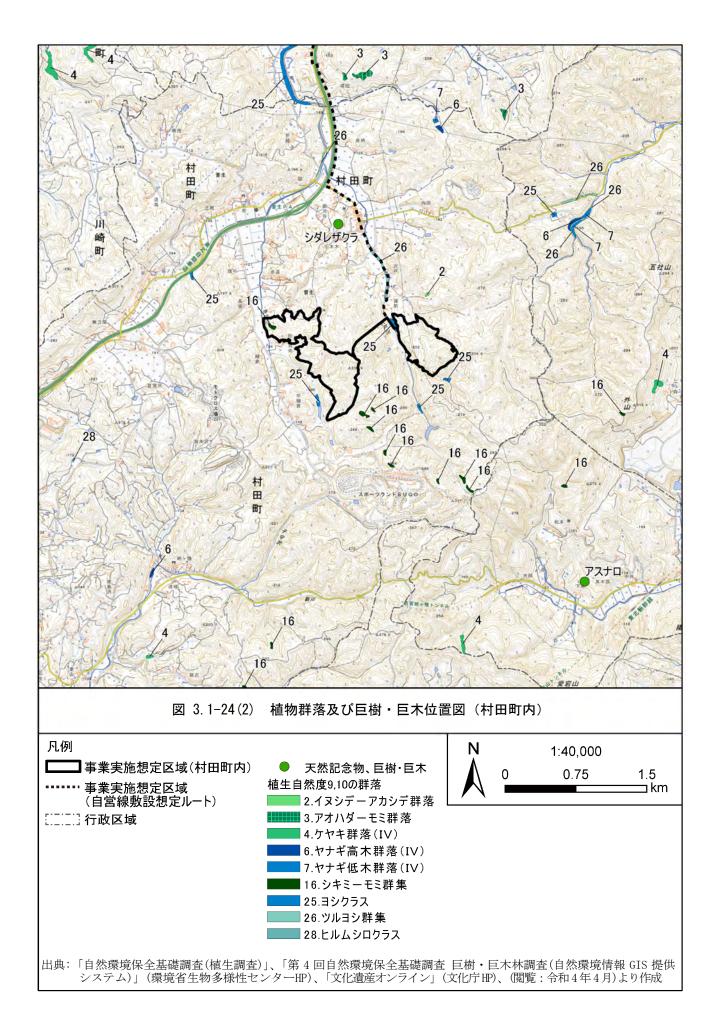
文献番号	資料名	調査項目	発行
1	『第 4 回自然環境保全基礎調査 巨樹・巨木林調査 (自然環境情報 GIS 提供システム)』(平成 3 年)	巨樹・巨木林	環境省
2	『第 6 回自然環境保全基礎調査 巨樹・巨木林調査 (自然環境情報 GIS 提供システム)』(平成 13 年)	巨樹・巨木林	環境省

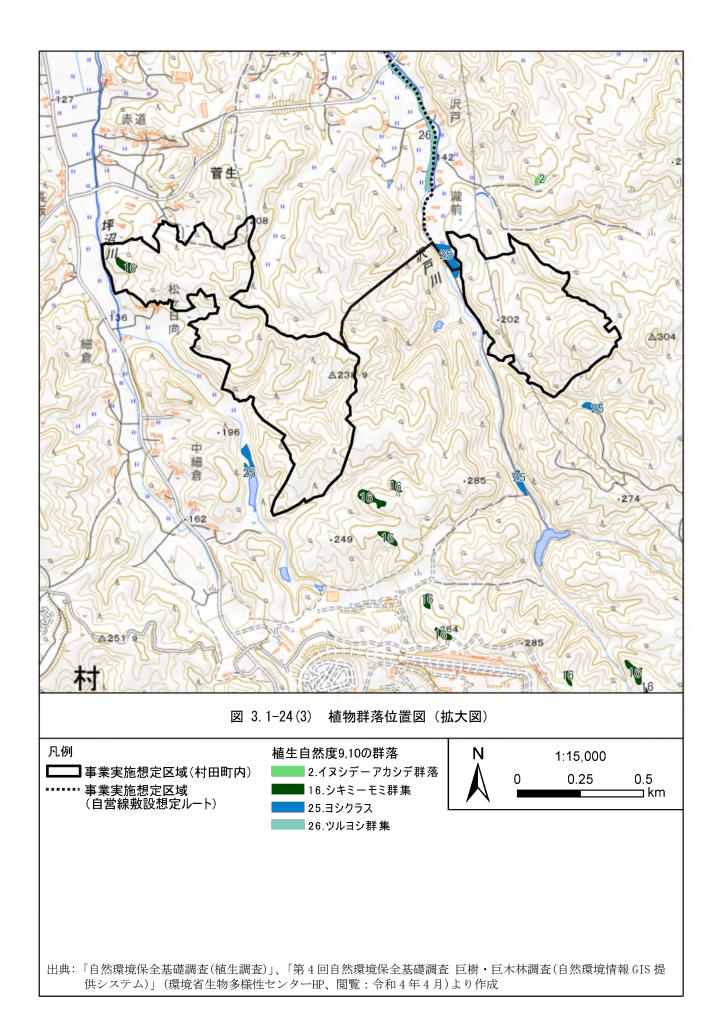
表 3.1-44 事業実施想定区域及びその周囲の巨樹・巨木林

文献番号	樹種	名称	所在地	幹周(cm)	樹高(m)
1	フジ	滝前不動のフジ	川崎町	280	28
2	アスナロ	南条家	岩沼市	340	15

出典:「第4回自然環境保全基礎調査 巨樹・巨木林調査(自然環境情報 GIS 提供システム)」 (環境省生物多様性センターHP、閲覧:令和4年4月)より作成







(4)注目すべき生育地

事業実施想定区域及びその周囲を対象に、注目すべき生育地について表 3.1-45 に示す法令や規制等の選定基準に基づき抽出した。

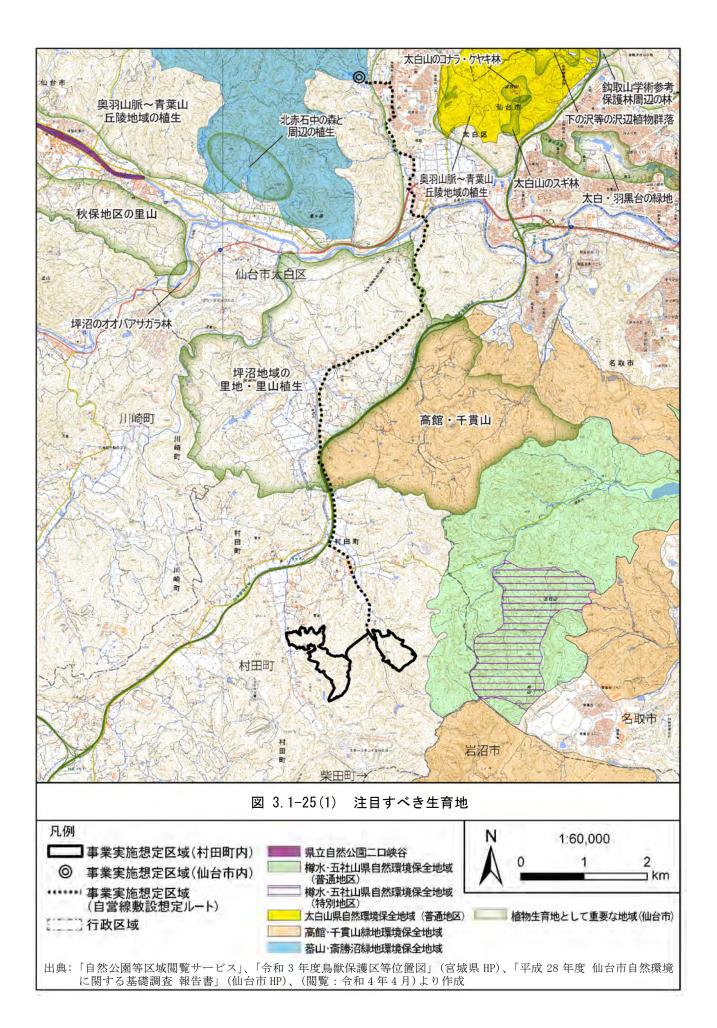
表 3.1-45 注目すべき生育地の選定基準

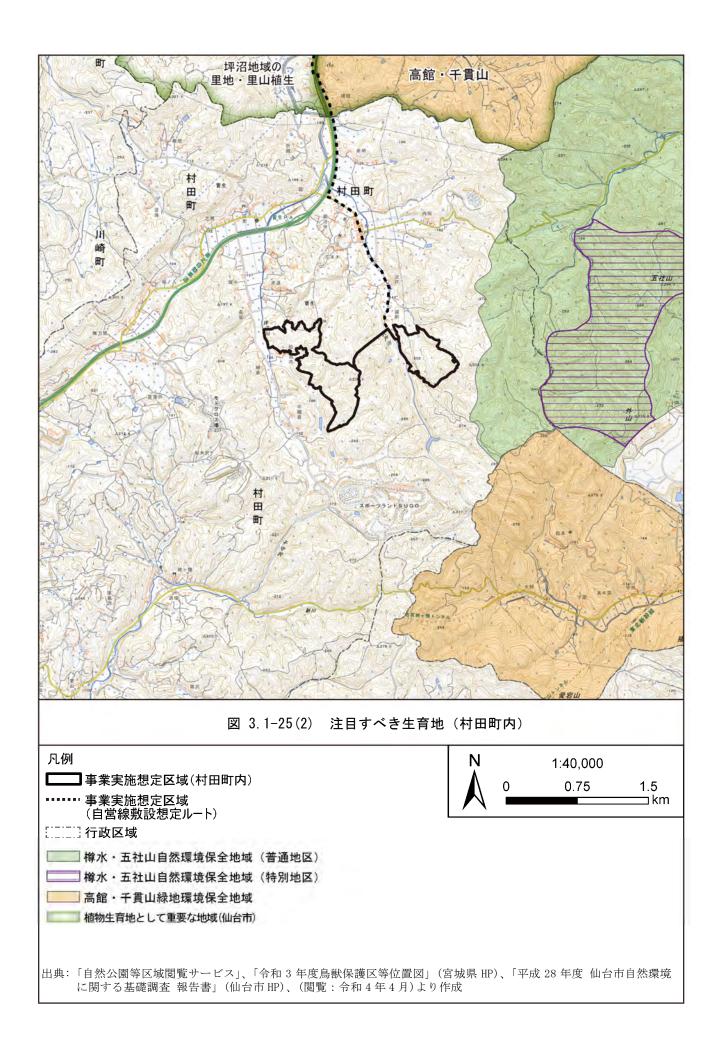
	衣 3.1-45	注日9へさ生月地の選定基準 	
分類 番号	名称	カテゴリ	
1)	『文化財保護法』 (昭和25年 法律第214号) 『宮城県文化財保護条例』 (昭和50年 宮城県条例第49号) 『村田町文化財保護条例』 (平成元年 村田町条例第14号) 『仙台市文化財保護条例』 (昭和37年 仙台市条例第27号)	特天:特別天然記念物 国天:天然記念物 県天:県指定天然記念物 町天:町指定天然記念物 市天:市指定天然記念物	
2	『絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律(種の保存法)』 (平成4年 法律第75号) 『絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律施行令』 (平成5年 政令第17号)	生息:生息地等保護区	
3	『生物多様性の観点から重要度 の高い湿地』 (環境省 HP、閲覧:令和4年4 月)に基づく重要度の高い湿地	基準1:湿原・塩性湿地、河川・湖沼、干潟・砂浜・マングローブ湿地、藻場、サンゴ 礁等の生態系のうち、生物の生育・生息地として典型的または相当の規模の面 積を有している場合 基準2:希少種、固有種等が生育・生息している場合基準3:多様な生物相を有している場合(ただし、外来種を除く) 基準4:特定の種の個体群のうち、相当な割合の個体数が生育・生息する場合 基準5:生物の生活史の中で不可欠な地域(採餌場、繁殖場等)である場合	
4	『生物多様性保全の鍵になる重要な地域(KBA)』 (コンサベーション・インターナショナル・ジャパン HP、閲覧:令和4年4月)	危機性: IUCN のレッドリストの地域絶滅危惧種(CR、EN、 VU) に分類された種が生息/生育する 非代替性: a) 限られた範囲にのみ分布している種(RR) b) 広い範囲に分布するが特定の場所に集中している種 c) 世界的にみて個体が一時的に集中する重要な場所 d) 世界的にみて顕著な個体の繁殖地 e) バイオリージョンに限定される種群	
(5)	『自然環境保全法』 (昭和 47 年 法律第 85 号) 『県立自然公園条例』 (昭和 34 年 宮城県条例第 20 号) 『宮城県自然環境保全条例』 (昭和 47 年 宮城県条例第 25 号)	県自然公園 自然環境保全地域 緑地環境保全地域	
6	『平成 28 年度 仙台市自然環境に関する基礎調査 報告書』 (仙台市 HP、閲覧:令和4年4月)	植物生育地として重要な地域	

事業実施想定区域及びその周囲における注目すべき生育地を表 3.1-46、図 3.1-25に示す。事業実施想定区域及びその周囲には県立自然公園二口峡谷、樽水・五社山県自然環境保全地域、太白山県自然環境保全地域、高館・千貫山緑地環境保全地域、蕃山・斎勝沼緑地環境保全地域が存在する。また、植物生育地として重要な地域は、高館・千貫山及び坪沼地域の里地・里山植生等が存在する。

表 3.1-46 注目すべき生育地

名称及び種名等	カテゴリ	選定基準	
県立自然公園二口渓谷	県立自然公園	『県立自然公園条例』 (昭和34年 宮城県条例第20号)	
樽水・五社山県自然環境保全地域	自然環境保全地域		
太白山県自然環境保全地域	日然來先体主地域	『宮城県自然環境保全条例』	
高館・千貫山緑地環境保全地域	緑地環境保全地域	(昭和47年 宮城県条例第25号)	
蕃山・斎勝沼緑地環境保全地域			
太白山のスギ林			
鈎取山学術参考保護林周辺の林			
下の沢等の沢辺植物群落			
太白山のコナラ・ケヤキ林		『平成 28 年度 仙台市自然環境	
北赤石中の森と周辺の植生			
坪沼のオオバアサガラ林	植物生育地として重要 な地域	に関する基礎調査 報告書』	
太白・羽黒台の緑地	32 9.	(仙台市IP、閲覧:令和4年4月)	
坪沼地域の里地・里山植生			
奥羽山脈~青葉山丘陵地域の植生			
高館・千貫山			
秋保地区の里山			





3 生態系の状況

事業実施想定区域及びその周囲における生態系の状況を把握するに当たり、収集した 文献その他の資料を表 3.1-47 に示す。

表 3.1-47 文献その他の資料一覧(生態系)

項目	文献 番号	資料名	調査項目	発行	
の 概 況 系	「3.1.5 1 動物の生息状況」、「3.1.5 2 植物の生育状況」の種及び植生に関する 文献その他資料とした。				
	1	『文化財保護法』(昭和25年 法律第214号)	繁殖地、重要な植 物群落、自生地等	文化庁	
	2	『絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に 関する法律(種の保存法)』(平成4年 法律第75号)	希少野生動植物	環境省	
	3	『自然環境保全条例』 (昭和47年 宮城県条例第25号)	県自然環境保全地域	宮城県	
	4	『県立自然公園条例』 (昭和34年 宮城県条例第20号)	自然公園特別地域内 指定植物	宮城県	
	5	『宮城県文化財保護条例』 (昭和 61 年 宮城県条例第 21 号)	天然記念物	宮城県	
	6	『村田町文化財保護条例』 (平成元年 村田町条例第 14 号)	天然記念物	村田町	
	7	『仙台市文化財保護条例』 (昭和 37 年 仙台市条例第 27 号)	天然記念物	仙台市	
重要な自然環境	8	『第2回自然環境保全基礎調査 植生調査(1/50,000 縮尺)(自然環境情報 GIS 提供システム)』(昭和 54 年)	自然草原、自然林	環境省	
は自然	9	『第4回自然環境保全基礎調査 巨樹・巨木林 調査 (自然環境情報 GIS 提供システム)』(平成3年)	巨樹・巨木	環境省	
環境の	10	『第 5 回自然環境保全基礎調査 特定植物群落 調査(自然環境情報 GIS 提供システム)』(平成 12年)	特定植物群落	環境省	
まとま	11	『希少猛禽類調査(イヌワシ・クマタカ)の結果に ついて』(平成 16 年)	イヌワシ生息地、 クマタカ生息地	環境省	
りの	12	『要注意鳥獣(クマ等)生息分布調査』(平成30年)	ツキノワグマ生息 地、カモシカ生息地	環境省	
場	13	『ガンカモ類の生息調査』(平成 17 年)	ガンカモ類生息地	環境省	
	14	『モニタリングサイト 1000 ガンカモ類調査』 (平成 19 年)	ガンカモ類生息地	環境省	
	15	『都市緑地法』(昭和 48 年 法律第72号)	特別緑地保全地区	環境省	
	16	『森林法』(昭和 26 年 法律第 249 号)	保安林	環境省	
	17	『宮城県鳥獣保護区等位置図』(令和3年)	鳥獣保護区、特別保 護地区	宮城県	
	18	『自然公園等区域閲覧サービス』(平成 30 年)	自然公園、県自然環境保全地域、県緑地 環境保全地域	宮城県	
	19	『宮城県の絶滅のおそれのある野生動植物 RED DATA BOOK MIYAGI 2016』(平成28年)	植物群落	宮城県	
	20	『平成 28 年度 仙台市自然環境に関する基礎調査 報告書』(平成 29 年)	動物生息地として重要な地域、植物生育地として重要な地域	仙台市	

1) 生態系の状況

既存資料の植生区分をもとに自然環境の類型区分を実施し、地域を特徴づける生態系を整理した。地域を特徴づける生態系と植生区分の概要を表 3.1-48 及び図 3.1-26 に示す。

事業実施想定区域及びその周囲は樹林地、草原、畑地・造成地等、水辺(河川、ため 池等含む)に区分され、村田町内の事業実施想定区域は樹林地が大半を占める。

また、事業実施想定区域及びその周囲の生態系の状況として、既存資料によって得られた生息・生育種に関する情報から代表的な生物種間の関係性を整理した食物連鎖の概要を表 3.1-49 及び図 3.1-27 に示す。

なお、環境類型区分への重要な動植物の振分けに当たっては、植生自然度を参考に以下のとおり分類した。

・樹林地: 自然林、二次林(自然林に近いもの)、二次林、植林地

·草原 : 自然草原、牧草地、二次草原等

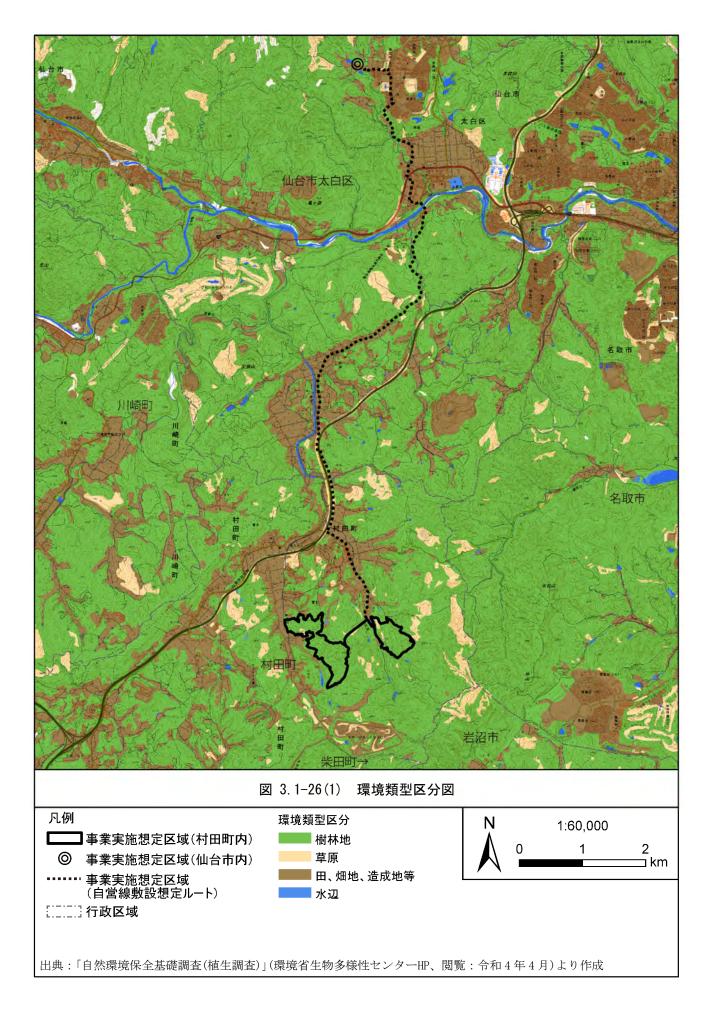
・田、畑地、造成地等: 樹園地、水田・畑、市街地、緑の多い住宅地等

• 水辺 : 開放水域、高層湿原、低層湿原

表 3.1-48 地域を特徴づける生態系と植生区分の概要

地域を特徴づける生態系 (環境類型区分)	植生区分
樹林地	モミーイヌブナ群集、イヌシデーアカシデ群落、アオハダーモミ群落、ケヤキ群落、ハンノキ群集、ヤナギ高木群落、ヤナギ低木群落、コナラ群落、アカシデーイヌシデ群落、オニグルミ群落、ケヤキニ次林、アカマツ群落、ススキ群団、ウラジロガシ群落、シキミーモミ群集、クリーコナラ群集、アズマネザサ群落、クズ群落、スギ・ヒノキ・サワラ植林、アカマツ植林、ニセアカシア群落
草原	伐採跡地群落、放棄畑雑草群落、牧草地、ゴルフ場・芝地
田、畑地、造成地等	果樹園、畑地雑草群落、水田雑草群落、市街地、緑の多い住宅 地、造成地等
水辺	開放水域、高層湿原、低層湿原

出典:「自然環境保全基礎調査(植生調査)」(環境省生物多様性センターHP、閲覧:令和4年4月)より作成



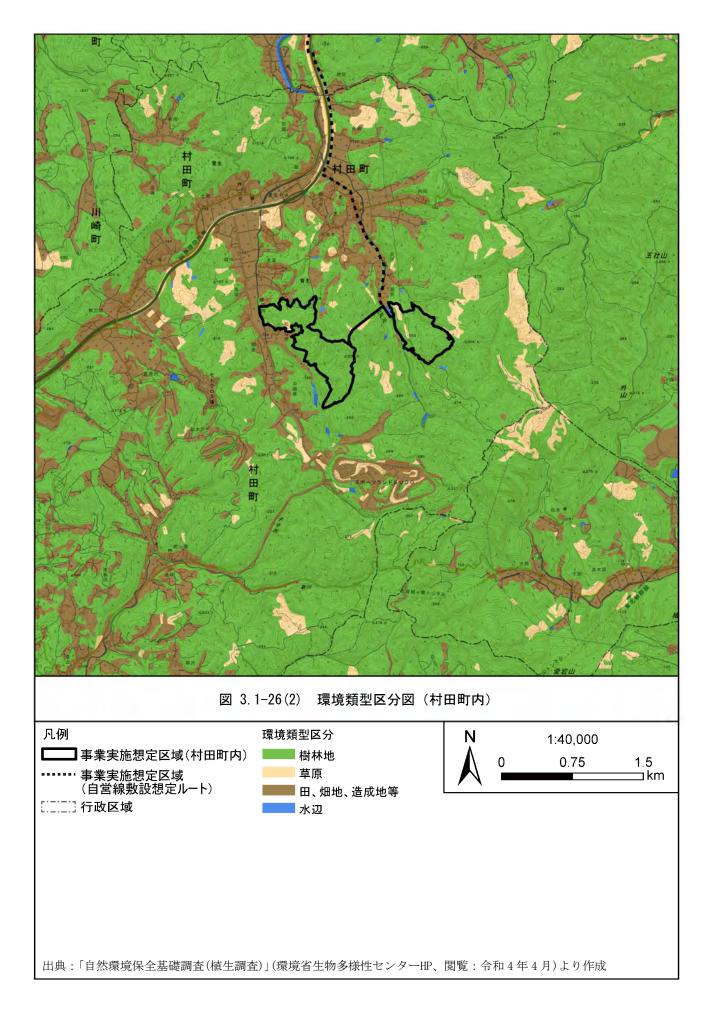


表 3.1-49 事業実施想定区域及びその周囲の生態系の概況

	表 3.1-49 事業美施忠定区域及びその周囲の生態系の概况 環境類型区分				
分類	樹林地	草原	田、畑地、造成地等	水辺	
哺乳類	ヒメホオヒゲコウモリ ウサギコウモリ テングコウモリテンクショキ タヌキ キツネ イタチ類 ツキノワグマ イノシシ コモシカ カモシカ	タヌキ キツネ イタチ類	ネズミ類 イタチ タヌキ	(河川、ため池等を含む) コウモリ類	
鳥類	オオシンカ カ カ サンカスリンガンカスリンガンカスリングランカスリングラー カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カ	スズメ ヒヨドリ カワラヒワ ホオジロ ムクドリ トビ ハシブトガラス	ョシゴイ チゴモズ アオサギ コサギ カルガモ ハクセキレイ	カイツブリ アオサギ カワガラス カワセミ イワツバメ	
爬虫類	ジムグリ ヒバカリ シロマダラ	ニホントカゲ ニホンカナヘビ アオダイショウ ニホンマムシ	ニホントカゲ ニホンカナヘビ シマヘビ ヤマカガシ	ニホンカナヘビ ヤマカガシ	
両生類	トウホクサンショウウオ クロサンショウウオ アズマヒキガエル タゴガエル ニホンアカガエル ヤマアカガエル カジカガエル	アマガエル アズマヒキガエル	アカハライモリ アズマヒキガエル アマガエル トウキョウダルマガエル	アマガエル シュレーゲルアオガエル カジカガエル	
昆虫類	ウラナミアカシジミ ヒメギフチョウ ヒカゲチョウ ノコギリクワガタ マガタマハンミョウ ヒグラシ	ウスバキトンボ ベニシジミ キタテハ モンキチョウ ウラギンスジヒョウモン カスミササキリ	ギンヤンマ モートンイトトンボ ゲンゴロウ ガムシ オオルリハムシ セアカオサムシ	ハグロトンボ ミヤマカワトンボ ゲンジボタル コオイムシ タガメ カゲロウ類	
魚類	-	-	ドジョウ類 メダカ類	ギンブナ ウグイ ワカサギ ヨシノボリ類 ドジョウ類	
植物	アカマツ アカンマラン アンネザサ ケマナキ ワ マナヤクラ マナヤンボス トマンカズラ ヤクソカズラ	ワラビ コヌカグサ シナダレスズメガヤ オギ ススキ ツルドショシ メドハラ クマノチョ グンギ ヨモギ	カラスビシャク ウキクサ ヘラオモダカ ホタルイ オランダミミナグサ スベリヒユ アゼナ ミゾカクシ トキンソウ	サンショウモ ショウブ ミズオオバコ ナガヤミ チガヤ ツルョシ ヒシ ノダイオウ	

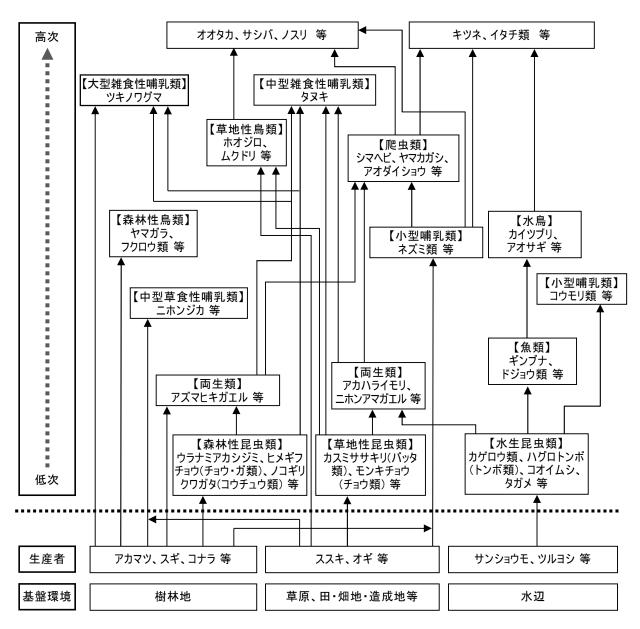


図 3.1-27 事業実施想定区域及びその周辺の食物連鎖の概要

2) 重要な自然環境のまとまりの場

重要な自然環境のまとまりの場は、表 3.1-47 に示した生態系の文献その他の資料より抽出し、表 3.1-50 に示す選定基準に基づいて行った。事業実施想定区域及びその周囲における重要な自然環境のまとまりの場を表 3.1-51 及び図 3.1-28 に示す。

事業実施想定区域及びその周囲は、天然記念物であるイヌワシ、カモシカ及び渡り 鳥の生息地とされている。また、植生自然度 9,10 の植物群落、天然記念物のシダレザ クラ等が点在し、事業実施想定区域及びその周囲には県立自然公園二口峡谷、樽水・ 五社山県自然環境保全地域、太白山県自然環境保全地域、高館・千貫山緑地環境保全 地域、蕃山・斎勝沼緑地環境保全地域、菅生鳥獣保護区、愛宕鳥獣保護区が存在する。 また、動物生息地として重要な地域及び植物生育地として重要な地域は、高館・千貫 山及び坪沼地区等が存在する。なお、村田町内の事業実施想定区域には菅生鳥獣保護 区が存在している。

表 3.1-50 重要な自然環境のまとまりの場の選定基準

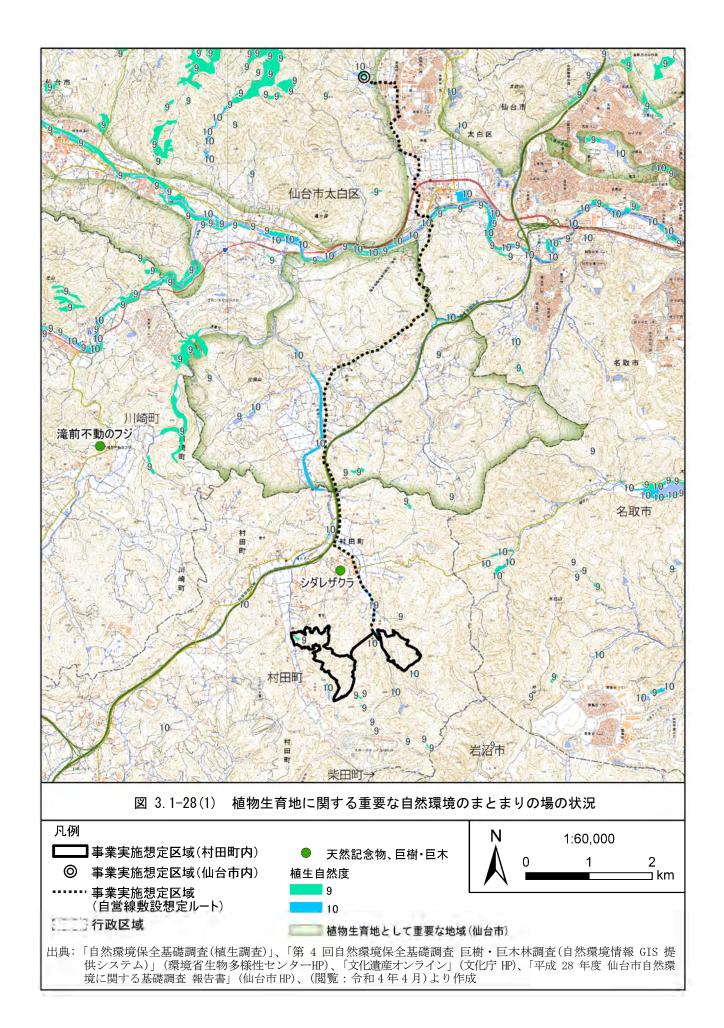
文献 番号 ^{※1}	資料名	カテゴリ
1, 5, 6, 7	『文化財保護法』(昭和 25 年 法律第 214 号) 『宮城県文化財保護条例』(昭和 50 年 宮城県条例第 49 号) 『村田町文化財保護条例』(平成元年 村田町条例第 14 号) 『仙台市文化財保護条例』(昭和 37 年 仙台市条例第 27 号)	特別天然記念物天然記念物県指定天然記念物町指定天然記念物市指定天然記念物
2	『絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に 関する法律(種の保存法)』(平成4年 法律第75号)	・特定国内希少野生動植物種・国内希少野生動植物・国際希少野生動植物
8	『第2回自然環境保全基礎調査 植生調査 (1/50,000 縮尺)(自然環境情報 GIS 提供システム)』 (昭和54年環境省)	・自然草原・自然林
9	『第 4 回自然環境保全基礎調査 巨樹・巨木林調査 (自然環境情報 GIS 提供システム)』 (平成3年環境省)	・巨樹・巨木
10	『第5回自然環境保全基礎調査 特定植物群落調査 (自然環境情報 GIS 提供システム)』 (平成 12 年環境省)	• 特定植物群落
11	『希少猛禽類調査(イヌワシ・クマタカ)の結果に ついて』(平成16年 環境省)	・イヌワシ生息地 ・クマタカ生息地
12	『要注意鳥獣(クマ等)生息分布調査』 (平成30年 環境省)	・ツキノワグマ生息地・カモシカ生息地
13	『ガンカモ類の生息調査』(平成 17 年 環境省)	・ガンカモ類生息地
14	『モニタリングサイト 1000 ガンカモ類調査』 (平成 19 年 環境省)	・ガンカモ類生息地
16	『森林法』(昭和 26 年 法律第 249 号)	・保安林
17	『宮城県鳥獣保護区等位置図』(令和3年 宮城県)	• 鳥獣保護区
18	『自然公園等区域閲覧サービス』 (平成30年 宮城県)	・自然環境保全地域 ・緑地環境保全地域
20	『平成 28 年度 仙台市自然環境に関する基礎調査 報告書』(平成 29 年 仙台市)	・動物の生息地として重要な地域 ・植物の生育地として重要な地域

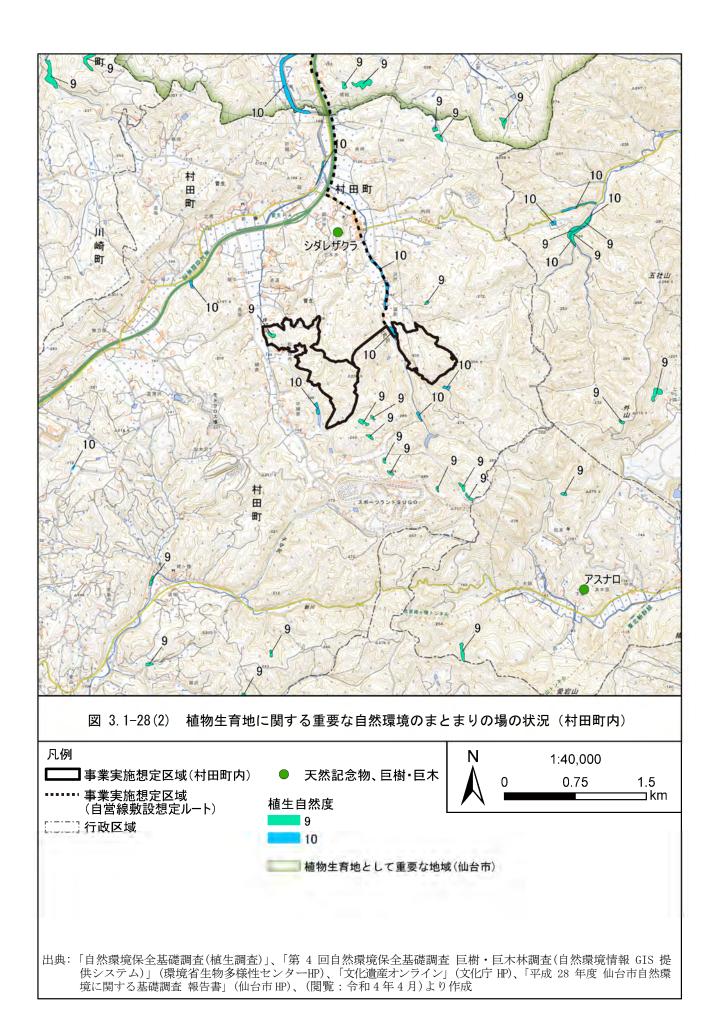
^{※1.} 文献番号は表 3.1-47 に対応する。

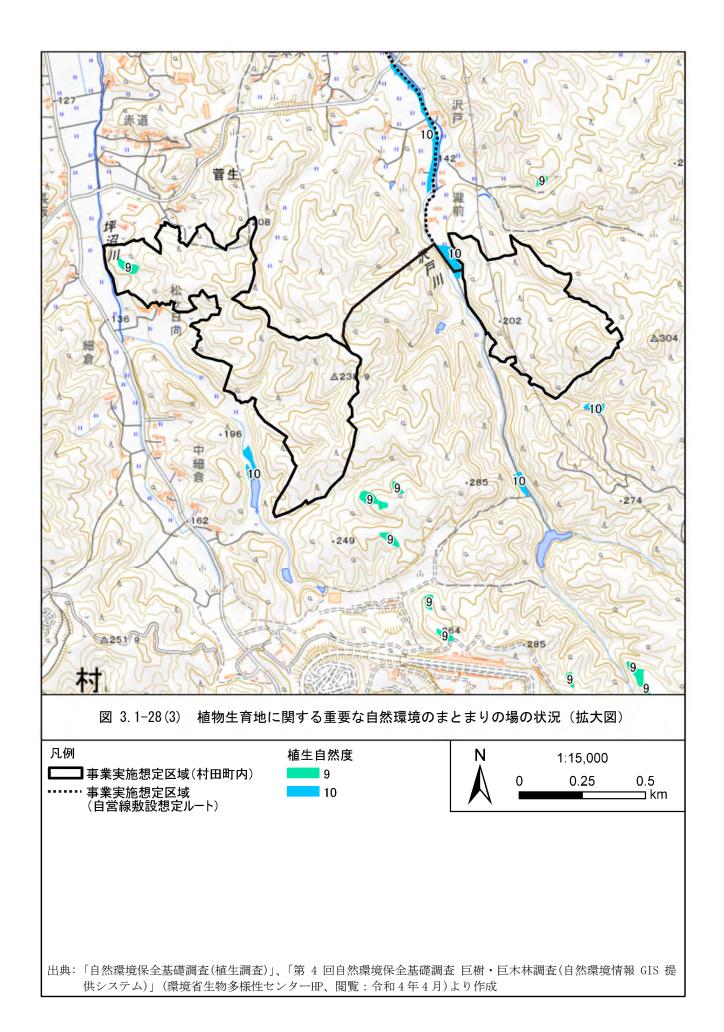
表 3.1-51 事業実施想定区域及びその周囲の重要な自然環境のまとまりの場

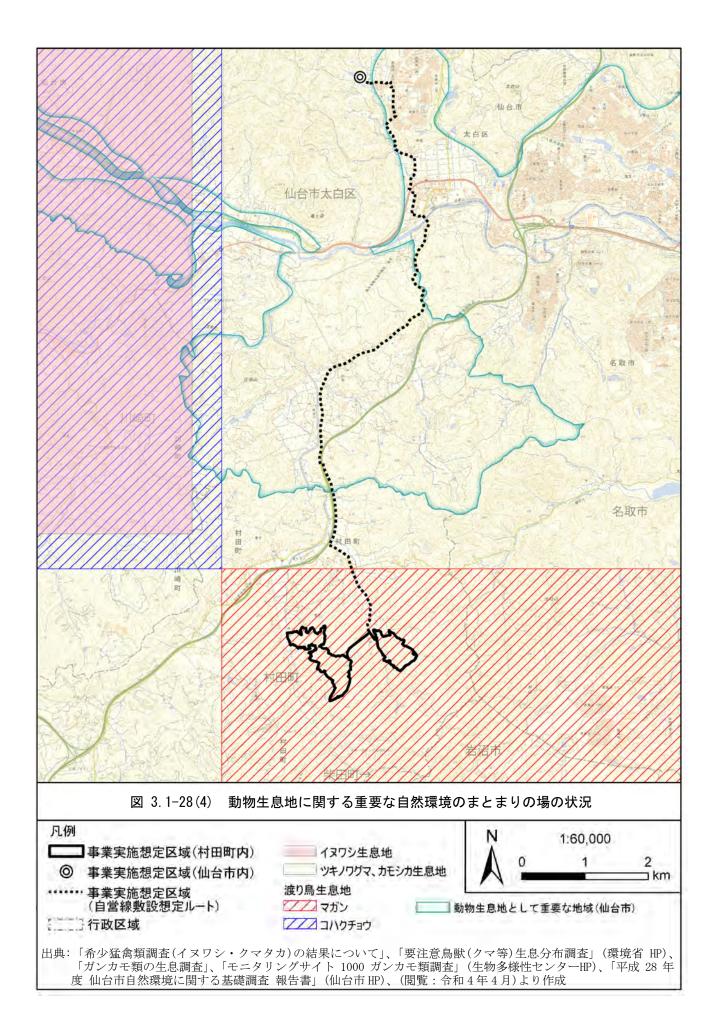
文献番号※1	重要な自然環境	選定基準※1
4	アスナロスギ	・巨樹・巨木
4, 5	植生自然度 10:河辺・湿原・塩沼地・砂丘植生等 植生自然度 9:ブナクラス域自然植生、ヤブツ バキクラス域自然植生	・自然草原・自然林
1	シダレザクラ(村田町指定天然記念物) 滝前不動のフジ(天然記念物)	・町指定天然記念物 ・天然記念物
1, 2, 8, 9	イヌワシ生息地 (天然記念物・国内希少野生動植物)	・天然記念物・国内希少野生動植物・イヌワシ生息地
1, 2, 10, 11	ツキノワグマ生息地 カモシカ生息地 (特別天然記念物・国内希少野生動植物)	特別天然記念物国内希少野生動植物ツキノワグマ生息地カモシカ生息地
1, 2, 13, 14	渡り鳥生息地 マガン(天然記念物) コハクチョウ	・ガンカモ類生息地
16	水源かん養保安林	• 保安林
17	菅生鳥獣保護区、愛宕山鳥獣保護区、 門野山鳥獣保護区、釜房鳥獣保護区、 仙台鳥獣保護区	• 鳥獣保護区
18	県立自然公園二口渓谷 樽水・五社山県自然環境保全地域(普通地区) 樽水・五社山県自然環境保全地域(特別地区) 太白山県自然環境保全地域(普通地区) 高舘・千貫山緑地環境保全地域 蕃山・斎藤沼緑地環境保全地域	・自然公園 ・自然環境保全地域 ・緑地環境保全地域
20	太白山のスギ林、鈎取山学術参考保護林周辺の林、下の沢等の沢辺植物群落、太白山のコナラ・ケヤキ林、北赤石中の森と周辺の植生、坪沼のオオバアサガラ林、太白・羽黒台の緑地、沼地域の里地・里山植生、奥羽山脈~青葉山丘陵地域の植生、高館・千貫山、秋保地区の里山	・植物生育地として重要な地域
20	太白山・佐保山・鈎取国有林一帯、太白山一帯、 奥羽山脈から青葉山丘陵地域への緑の回廊、高 館・千貫山、坪沼地区、秋保地区、名取川(上〜 中流域)	・動物生息地として重要な地域

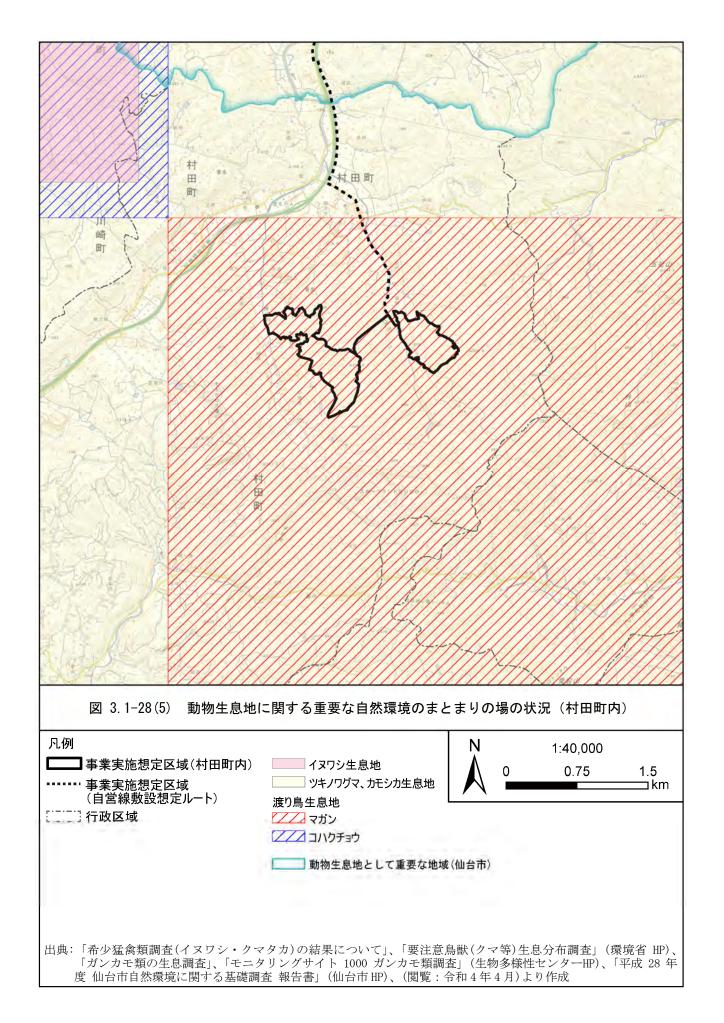
※1. 文献番号及び選定基準は表 3.1-47 に対応する。

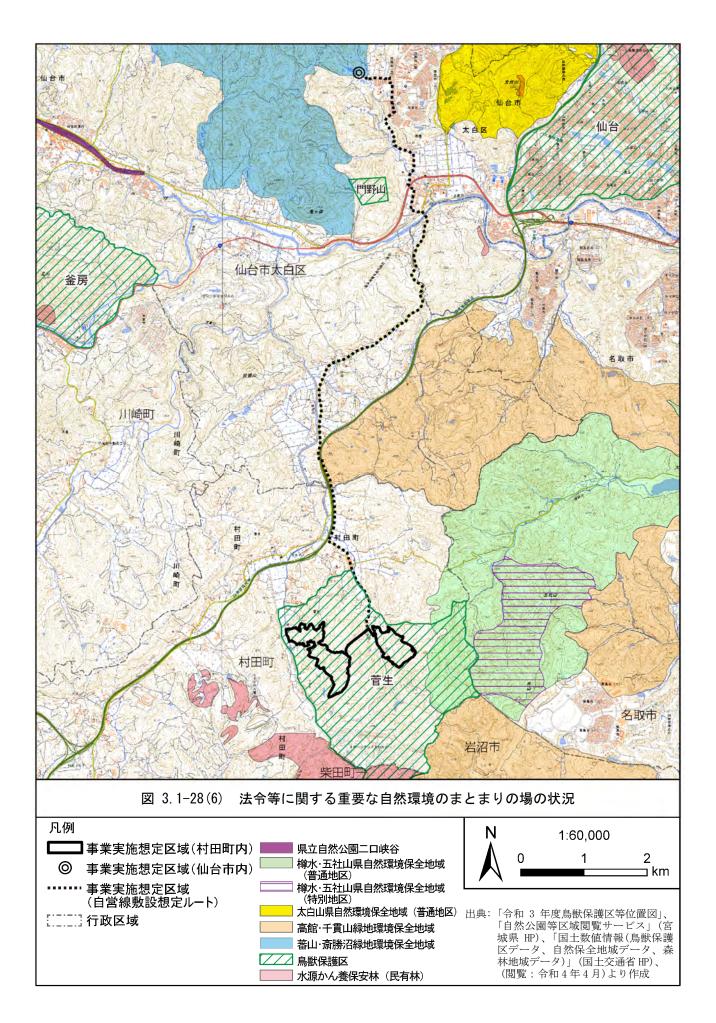












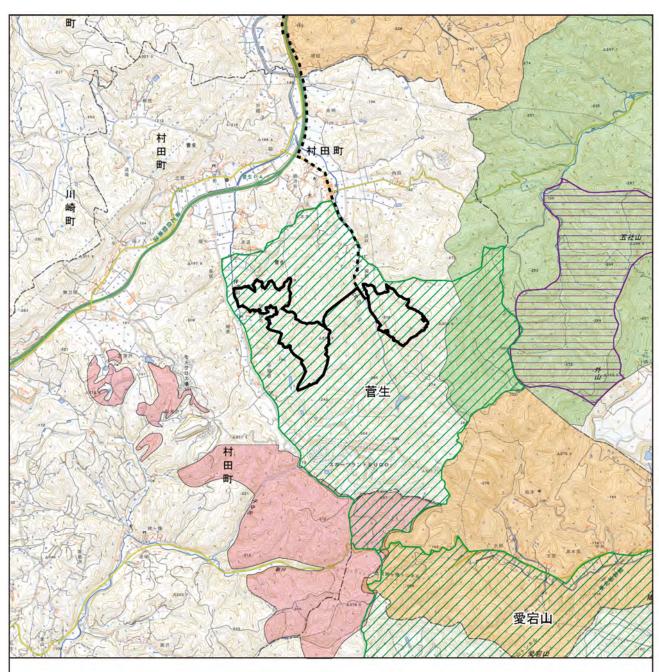


図 3.1-28(7) 法令等に関する重要な自然環境のまとまりの場の状況(村田町内)

出典:「令和 3 年度鳥獣保護区等位置図」、「自然公園等区域閲覧サービス」(宮城県 HP)、「国土数値情報(鳥獣保護区 データ、自然保全地域データ、森林地域データ)」(国土交通省 HP)、(閲覧:令和4年4月)より作成